第227号 1909. 10. 1.

明治十一年十二月三日第三種郵便物認可 (毎月) 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年十月一日 (金曜日) 第二百廿七號 (一)

東京新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓國今後の司法

(梅謙學士の談)

△韓人採用違憲說　韓國司法權委任の協約により韓國に於ける日本の裁判所に一定の資格を有する韓人をも司法官として任用することは我日本の憲法に抵觸するものなれども是れ甚だしき愚論なり何となれば其論據とする憲法第十九條は日本臣民の權利を規定したるものにして外國人の權利を云爲したるものに非ず若し果たして外人に此權利なしとせば從來とても遠憲の任命多々ありと云はざるべからず彼の官吏たる大學教授の行ふべき公務に外國人を採用せる例の如き即ち是れなり其他憲法第二十八條の信教自由に關する規定の如きも此の理論を以て推せば日本人に限り外國人には之を許さゞる結果となるべく何人も其不合理なるを認むべし故に韓國人の任命も適法のものたるは疑なし而して實際問題としても韓國に於ける日本人間の訴訟は日本人の司法官によりて裁判せらるべきを以て第廿四條に基く非違を挿む餘地なく若しこれありとするも法律に定めたる裁判官なれば何等國民の權利侵害とならず而して韓人の採用は一は政策より來る者なれども韓人を裁判するに當つては稍や法律智識あり日本語を解するものは諸種の實益あるを以て結局韓人を採用する事となれり

△適用すべき法律　從來は韓國人間の民事及び韓國人被告たる場合の裁判には韓國の法律を適用し其義判所に於て之を取り扱ひしが司法權委任の結果よりして其裁判所は日本の裁判所となり其法律は日本及び韓國の二種の法律にして韓國人間の民事及韓國人の被告たる刑事の外は悉く其訴訟は日本法律によりて決すべきものなり而して其裁判所は日本の裁判所なれば新たに發布さるべき裁判所構成法は日本の法律たるは勿論にして從つて帝國議會の協賛を經て法律の形式を以て發布するか然らざれば緊急勅令を以て發布せらるべし次に訴訟手續法の如きも日本に於けると同一なる機關存在せず且つ各方面の事情異なるを以て直ちに日本の現行手續法を實施する能はざるより此等の現行手續法を實施すべき迅びなり右の次第も新たに發布せらるべき迅びなり右の次第にて韓國に於ける司法狀態は極めて複雜なる關係を有するは事實なり

△三審制度採用　裁判所の取扱ふべきことは單に事實の審理のみなれば强ひて三審制を執る必要なきも法律の審理即ち法文の解釋適用法の決定を要する場合少なからざれば其判決例を統一する必要より三審制を存する必要ありとは予の持論にして日本の三審制度の如きも此趣旨によりて現今の如く入種の判例を發し得る缺陷を改めざるべからずとは我法曹界の定論なり斯る趣旨に基き韓國に於ても區裁判所地方裁判所及び高等法院(命名不明)の三審制を採用するに決

そしなり

△實施期と施設　委任司法權の實施期に就ては不明なるが政務の上よりすれば今日となりては敢て急施を要せざるも政府に於ても各種の事情より實施を急きつゝあれば遠からず實施を見るならん而して右實施後の施設に就ては現在の豫定內容に大差を來たすべき理由なく區裁判所の數の如きも大概豫定の數と大差なからん次に委任司法權の實施後と雖も現在の法典調査局は依然として韓國人に適用すべき民商法の調査を繼續する豫定なり

△領事裁判權問題　締盟各國と何等の條約を締結するに非ざれば委任司法權行施後と雖も從前通り韓國に各國の領事裁判權の存續すべきは當然なれども韓國の司法權を日本に於て行使する曉には本國同樣韓國に於ても領事裁判權を撤廢して外國人をも日本の法律に服從せしむる理由充分なれば近き將來に於て此韓國に於ける領事裁判撤廢の談判は我が當局者より各國に向て試みらるべきは疑を容れず

第六十四席　桃川燕演玉

扨中山大納言營中に於て屬々松平越中守と談判を致しました、所が中山公の御論が鋭くして越中守が少しく渾みますと、關東の諸侯人悉く喜ぶ氣色がある、中山公の大分返答に御困りの模子が見ゆまするが、是は仔細があらうと、當時大才の愛親卿種々御考へ遊ばす、一体越中守が勤王無二の人物、尊號の一件に限つて纏りに故障を言ふ、どうも不審でならぬ、腕拱いて御考への所へ○「申上げます」中「何ぢや」○「高家前田信濃守御機嫌窺ひとして出でましてございます」中「アヽ、左樣か、早々此へと申せ」と云ふ、雜掌の案內に前田信濃守中山公の御前へ出でまして信「さて今日營中にて越中と御議論、貴卿の雄辯吾々一同感服を致しました、就きまして今日薄墨の御綸旨を御取出しになつた、彼の節今一層手强く御談判あらせられましたならば、將軍家も思召を變へ、必ず貴卿の御見込も立ち吾々も恐悅に存じまする、惜い哉華に して御退出に相成り、近頃殘念の至りでご ざいます」御笑ひなすつた中山樣が中「其許は歷とは平生懸意の間だから左樣思はるゝが、諸役人一同屬が議論に負けるのを嘲快く思つて居るであらう、麿が議論に勝つ、それを喜ぶのは先づ其許一人であらう」信「イヤ〳〵決して左樣ではございませぬ」中「さア左樣であるか、宜し〳〵、此の次に營中へ召されたる時は手强く談判を致すから安堵を致くれよ」信「有難い仕合せ、拙者も誠に、正親町大納言も孫の外御感心を遊ばし 大慶に存じます、外諸役人一同の段を申し遂するでござると、前田信濃守は大膽喜んで立歸つた、後で中山大納言が正親町大納言に向ひ遊ばし中「なんと貴卿、前田悉く御賞美をなされて居るの」翌日松平越中守から、明後日拔平伊豆守役宅迄出頭して御綸旨の一件に相成つたか、今關東 の一件に相成り、近頃殘念の至りでご 信濃守の一言御聽きに相成つたか、今關東 越中守から、明後日拔平伊豆守役宅迄出頭 諸役人が閑院宮へ太上天皇の尊號を參らすを致されるやうにと云ふ、そこで承知の趣 を喜ぶは、朝廷へ對してさばかり忠義きを御返事を遊ばす。中山樣が御考になつ たのは、御自分の心中を越中守へ通じたい と云ふ次第ではない、只々一橋中納言を大御所へ崇め、結局已が出世の手掛りになさ ん、と云ふ、少しも賴母しい者はない、然る澤下野守と云ふ高家がある、發て中山樣と

中山大納言

割烹界の福音 味の素

「味の素」は無味料として、和洋料理には勿論一般の家庭に是非缺ぐべからざるもので、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、その上經濟や、昆布の樣に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く取扱に忘れる事のできないうまい飲食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店 歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 金鶴園美術品 直輸入商 京城本町二丁目 電話三一丁目 辻屋 本店電話一四八番 支店電話三六六番

廣告

コレラ豫防藥

醫學士古城慈治先生證明(最近發見ノ新藥)

健胃止瀉 コロリチン

定價金二十錢 警官諸氏ニ限リ半額トス

主治効能

本劑ハ最近發見ノ新藥ヲ基礎トシタルモノニシテ約十五滴ヲ一盞水ニ和シ每食後常ニ之ヲ飲用スルトキハ虎列刺豫防上奏効確實ナリ此他胃痛、腹痛、赤痢、腸加答兒等一切ノ下痢症ニ對シテハ一日三回一分服セラルベシ五才以上十才以下小兒用量ハ大人量ノ三分ノ一トス服用ノ時ハ必ズ振搖スルコト

目下京城及ビ附近ニ於ケルコレラ病ハ日々猖獗ヲ極ハメ病毒ハ近ク吾人ノ身邊ニ迫マレリ殊トニ當該吏員諸氏ハ警戒豫勤豫防事務ニ從事セラレ其ノ危險言フベカラズ誰カ一片同情ノ念ニ堪ヘンヤ此ニ於テ藥局ハ奏効確實ナル「コロリチン」劑ヲ製レラ豫防藥先ヲ五百本京龍各警察署及南民團ニ寄贈シ引續キ一般ニ發賣ハスル以上ノ通リ猛惡ナル病毒ノ感染ヲ免カレンコトヲ

發賣元 販賣所 京城本町四丁目角(電話一〇二番) 贊化堂古城藥局 京龍間藥店ニアリ

廣告

柳澤鹿之助著 新式家計簿記書 代金十錢 送料四錢

柳澤鹿之助編 一會計規則ニ據ル諸帳簿樣式 代六十錢 送料四錢(一般會計より特別)

附 誤記訂正例(一般會計金銀帳簿に至る)

簿記規程

京城日の出町七五 京城簿記學校

入院隨意 南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 各科診療

曇星 一コッキウリ 醬油 龍 日本醬油株式會社

廣告

事務員 河野要

右都合に依り解傭す

京城本町一丁目(電話千五十番) 增本事務所

美術半衿帶上帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 丸ゑり德商店

京城新報

伊東巳代治論

伊東巳代治子が統監の後任者たる噂高きにせよ、曾禰現統監留任の決意堅しとの今日に於て、伊東子の人物を論評するは聊か無要の辨に屬するが如きも、彼が後任者たるの噂立つや、彼の人格を知らざるものは其眞相を知らむとするは人情也、此時に於て余輩の知れる範圍に於て之を概評するは強ち無要の辨とのみ云はんや。

曾禰現統監も曾ては其平生の行動兎角不謹慎なりとの評を受けたる事もありき、然れども寄る年波と共に、其態度頗る鎮正となる、殊に統監に就任せられより一層莊重の態度を持せらるゝ如くに感せらる、伊東子も平生の行爲兎角不謹慎にして往々世人の誤解を招く、而も彼は其年の老成するも不謹慎の態度は革らず、大臣となるも樞密顧問となるも其態度は內閣書記官長時代と更に異る所を見ず、彼の不謹慎の態度は痛殲獅ある井上馨を激怒せしめたりき然れども彼は決じて之を故意せず、之れ自己の性情にして之を矯むるは僞善なりとして強て頓着せず、不謹慎的の態度は曾に長上の人を怒らしむるのみならず、腹心の部下をして屢々憤怒せしむる也、世人は彼を以て最も腹黑き人物の如く思ふも、決して然らず、彼の不謹慎なる能く彼の獻策に耳を傾くる爲に漸次山縣系に接近したる也、桂侯の如才なき從來彼を表面に於て軍部として敬し其計策を用ひたり、第一次の桂內閣は彼の起案に依りて成立したりと云ふも決して過言にあらず、彼は到底桂侯の如く言沈默不得要領の間に事を處する能はず、一方面の將として其に好個の驍將也。

綿の羽織に角帶を締め雪駄を穿つ瀟洒たる風采を見れば、一見輕薄才子の如くなれども其實腹氣わりて深厚なる謀策に富む、彼の風采の洒落たると待合に於ける遊興振りは聊か西園寺陶庵侯に似たり、然れども西園寺侯の如く其心都淡如たらず、燃るが如き野心は物々として彼の胸中に湧く、彼が往年林有造を介して故星亨と會し、意氣互に投合したるの點より見るも彼の野心は察せらる、唯彼の缺點は人を容るゝの雅量に乏しきと、財に吝なるとにあり、故に彼の部下には隨目するに足る人物なし、若し彼にして之を矯むるを得は將來政界に於ける大立物たるべき也。

若し彼にして今後統監となるの場合あり て、自由手腕を揮はしむれば、發目するに足る事蹟を擧ることを期待するは強ち架空の事とのみ云ふ可らざる也。

東京電報

▲韓皇儲の御歸韓 韓儲英親王は明年夏季休暇を利用し伊藤公同道歸韓公は更に滿洲視察に赴く由（廿九日）

▲韓銀株決定は一日 韓國銀行創立事務所にては敵日來彼夜にて劃當事務進行中にて本三十日中に準備を了へ明一日朝抽籤を執行し正午迄に決定する筈（三十日）

▲駐韓軍の更代期 韓國內地に今後著しき變動なき限りは守備師團の服役延期を爲さゝる事に決定し隨て現駐韓第六師團は十二月始め歸還し同更代兵は十一月末渡韓する筈（同上）

▲北韓輕鐵の許可 廣嶋縣人桐原恒三郎は資本金十萬圓にて北韓西水羅より土里に至る輕便鐵道敷設の義請願中の處其筋より認可せられ十月末より起工すべし（同上）

▲間島領事館の開期 間島總領事館及び分館は十一月三日より開館す

▲騎兵の特別演習 十月二十七日より十一月二日まで宇都宮以東の平野に於て騎兵第一、第二旅團の對抗演習を擧行す右演習の統監及び審判官は左の如し（同上）

統監 陸軍中將秋山好古、審判官 騎兵大佐秋山房次郎、青田平太郎、騎兵中佐中山宮三郎、上野佐太郎、吉崎佳三郎、騎兵少佐 阿部常吉、三好（今井義一及騎兵大尉一名、工兵少佐一名、工兵中尉一名

▲商業聯合會の決議 全國商業會議所聯合會は關稅改正問題に關し左の通り決議せり（同上）

一、從價稅に依る事

二、單稅主義を採る事

三、片務的協定に反對する事

▲故小松宮の銅像 大隈伯の手にて模型製作中の赤十字社總裁小松宮殿下の御銅像は頗る精緻を極め四十四年迄に除幕式を擧行する筈なり（同上）

▲大學授業料引上 東京大學授業料增徵の交渉は大學側は現在の年額三十五圓を五十五圓に引上げんと主張せるも文部當局は一時に二十圓の引上げは不穩當なれば四十三年度は先づ五圓乃至十圓增徵し漸次引上げを爲さんとの意向なれば結局是に決定すべし（同上）

▲柴氏の滿韓視察 代議士柴四郎氏は五東郵丸、ニコライ丸、第二東郵丸、メーの順に前記各郵業船は夫々準備無缺を了へて下

●捕鯨船の韓海出漁數 ●捕鯨社員の統監訪問 ●慶尙道防疫本部 ●天氣豫報（自三十日午後六時至一日午後六時）

美術半衿帶上帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目 丸ゑり德商店

●法官と登用試驗 司法權實施の結果四十余ケ所の區裁判所を今年中に開廳する筈なるが之に要する判檢事は有資格者より採用するも不足の分は裁判所書記中より登用試驗を行ひ採用する方針なりと云ふ

●七月中歲出入 歲入 百三十五万八千五百十三圓二十九錢二厘 歲出 百五十四万八十一圓九十五錢九厘 合計左の如し

●敘任辭令 任判事（奏任官四等）檢事 吉田眞策 依願免本官 度支部事務官 北川繁吉 給六級俸 內部事務官 佐藤重治 同 上 度支部事務官 小野政太郎 補春川區裁判所判事 補恩津區裁判所判事 補堤川區裁判所判事 補通川區裁判所判事 補蔚珍區裁判所判事 補永川區裁判所判事 補古阜區裁判所判事 補江華區裁判所判事 補長興區裁判所判事 大邱地方裁判所判事 全州區裁判所判事 馬山區裁判所判事 淸州區裁判所判事 淺見竹太郎 鈴木林次 鹽野良晴 山岡定行 （給六級俸） 仁川區裁判所判事 近東蓉穗 補天安區裁判所判事 石田耕學 元山區裁判所判事 春川區裁判所判事 桑野孫次郎 伊藤孫太郎 仁川區裁判所判事

●豫備金支出裁可 稅關防疫に關する經費豫備金より奈良九十圓支出の件裁可す

●來年度の消防隊擴張 警視廳にては客年宮內府所屬の消防隊を引繼ぎ六十名の消防員を昌德、德壽兩宮に各三十名を配置しあるが皇宮消防隊のことゝして市中の火災に際し全力を擧げて消防に着手する能はざるの憾みあるに依り來年度豫算に約二萬圓の消防費を計上し七十二名の消防夫を置き各署に配置して專ら市中の消防に當らしむる方針なりと尙は同廳は京城民團に對し常設消防隊を設置すべき件を交渉し以て日韓共同消防の敏活を計るべき方針なりと云ふ

●各道民籍調査の良好 目下各道に於て着手中なる民籍調査は初め韓國の慣習等に鑑み隨分困難多く手數少からざるべしとは當局者の豫想せし事なりが事實は之に反し一般住民の民籍調査の趣旨を理解するや各人率先して應諾する等の新現象を呈し各係官も些の遲滯なく進行しつゝあり結果極めて良好なりと云ふ

●不會有の大雹と免稅 既報義州府玉尙面九月十六日の降雹は其雹粒大なるは鷄卵大にして小なるも栗實に譬らす降下三日の後僅かに融消し作物の被害は固より高粱玉蜀黍の幹莖は悉く折挫し鳥雀類は大方撲ち殺され酷しき一頭の牛を斃すに至り尙は同方面は當局に向ふて本年免稅の哀願をなすに至りしと

●防疫本部會議の開會 昨日內部同本部に於て藤田軍醫監三浦理事官菊池大韓醫院長寺田三等藥劑正北村軍醫部長澤田地方長龍山民團長劉土木局長漢城府尹警視廳各課長等參列の上防疫に關する諸施設方針又は改善等重要問題を議定す

●電車線路延長の出願 日韓瓦斯電氣株式會社にては現在の營業線路擴張の必要を感じ先づ其擴張の第一期として黃金町の約一哩線を延長する事となり昨日岡崎專務より願書を理事廳へ提出せり

●伊國勳章の贈與 今回伊太利國皇帝陛下より左の通り勳章贈與せられたり

元統監府總務長官 韓原定吉

同上 統監府參與官 石塚英藏

王冠第二等勳章 同 木內重四郎

同 上 同 鍋島桂次郎

王冠第三等勳章 統監府技師 黑岩休太郎

王冠第五等勳章 同書記官 小橋綠

サンモーリス、エ、ラザル第二等勳章 同上 同 上 同 上

●法官と登用試驗 司法權實施の結果四十余ケ所の區裁判所を今年中に開廳する筈なるが之に要する判檢事は有資格者より採用するも不足の分は裁判所書記中より登用試驗を行ひ採用する方針なりと云ふ

●七月中歲出入 歲入 百三十五万八千五百十三圓二十九錢二厘 歲出 百五十四万八十一圓九十五錢九厘

●豫備金支出裁可 稅關防疫に關する經費豫備金より奈良九十圓支出の件裁可す

●敘任辭令 任判事（奏任官四等）檢事 吉田眞策 依願免本官 度支部事務官 北川繁吉 給六級俸 內部事務官 佐藤重治 同 上 度支部事務官 小野政太郎 補春川區裁判所判事 補恩津區裁判所判事 補堤川區裁判所判事 補通川區裁判所判事 補蔚珍區裁判所判事 補永川區裁判所判事 補古阜區裁判所判事 補江華區裁判所判事 補長興區裁判所判事 大邱地方裁判所判事 全州區裁判所判事 馬山區裁判所判事 淸州區裁判所判事 淺見竹太郎 鈴木林次 鹽野良晴 山岡定行 （給六級俸） 仁川區裁判所判事 近東蓉穗 補天安區裁判所判事 石田耕學 元山區裁判所判事 春川區裁判所判事 桑野孫次郎 伊藤孫太郎 仁川區裁判所判事

●來年度の消防隊擴張 警視廳にては客年宮內府所屬の消防隊を引繼ぎ六十名の消防員を昌德、德壽兩宮に各三十名を配置しあるが皇宮消防隊のことゝして市中の火災に際し全力を擧げて消防に着手する能はざるの憾みあるに依り來年度豫算に約二萬圓の消防費を計上し七十二名の消防夫を置き各署に配置して專ら市中の消防に當らしむる方針なりと尙は同廳は京城民團に對し常設消防隊を設置すべき件を交渉し以て日韓共同消防の敏活を計るべき方針なりと云ふ

●各道民籍調査の良好 目下各道に於て着手中なる民籍調査は初め韓國の慣習等に鑑み隨分困難多く手數少からざるべしとは當局者の豫想せし事なりが事實は之に反し一般住民の民籍調査の趣旨を理解するや各人率先して應諾する等の新現象を呈し各係官も些の遲滯なく進行しつゝあり結果極めて良好なりと云ふ

●不會有の大雹と免稅 既報義州府玉尙面九月十六日の降雹は其雹粒大なるは鷄卵大にして小なるも栗實に譬らす降下三日の後僅かに融消し作物の被害は固より高粱玉蜀黍の幹莖は悉く折挫し鳥雀類は大方撲ち殺され酷しき一頭の牛を斃すに至り尙は同方面は當局に向ふて本年免稅の哀願をなすに至りしと

●防疫本部會議の開會 昨日內部同本部に於て藤田軍醫監三浦理事官菊池大韓醫院長寺田三等藥劑正北村軍醫部長澤田地方長龍山民團長劉土木局長漢城府尹警視廳各課長等參列の上防疫に關する諸施設方針又は改善等重要問題を議定す

●電車線路延長の出願 日韓瓦斯電氣株式會社にては現在の營業線路擴張の必要を感じ先づ其擴張の第一期として黃金町の約一哩線を延長する事となり昨日岡崎專務より願書を理事廳へ提出せり

●伊國勳章の贈與 今回伊太利國皇帝陛下より左の通り勳章贈與せられたり

元統監府總務長官 韓原定吉

同上 統監府參與官 石塚英藏

王冠第二等勳章 同 木內重四郎

同 上 同 鍋島桂次郎

王冠第三等勳章 統監府技師 黑岩休太郎

王冠第五等勳章 同書記官 小橋綠

サンモーリス、エ、ラザル第二等勳章 同上 同 上 同 上

●慶尙道防疫本部 ●天氣豫報（自三十日午後六時至一日午後六時）

●東煙工場工事の進捗 東亞烟草會社京城工場は既報の如く大轉營近時商況不振の折柄なれば資金の需要も少なく銀行券の發行高も茲暫くは增加なかるべしと豫期したるに昨今滿洲地方に於ける小麥の需要活潑となり之れが買出資金としての需要起ると一方米價騰貴の爲め俄かに玄米の出廻を振致し金庫の回金增加等不時の材料顯はれたる爲め久しく九百萬圓臺を出でざりし銀行券は俄然千万圓臺に躍進し將に千百萬圓臺を廢せんとするの勢を示し前途尙增加の計り知るべからざるものあり要するに今後は地方取引稱々活氣を帶び各物の仕入等も起り事業界も新規資金の需要を喚起すべきにより大なる發行を見るに至らんかと豫期せらる

●平安兩道の近況 此程平安南北道地方視察中の某高等官は歸りて曰く同地方の△敎育は誤れる名譽心と自己の利益及對政府策として持久の方法を講ぜず無辨みに私立學校を濫設したるが一時的現象は到底永久に持續すべきにあらず漸次自滅するに至りたると目然淘汰に依り近時大いに其數を減じ目下存在するものは其成績稍見るべきものあり且同地方は政治熱に罹らるゝ傾きありたるに近時追々實業思想の發達するに至れるは喜ばしき現象なりとす次に農作物は水害の爲め多大の被害を見受けしも全道を通じて云へば約二割方減と見て大差なかるべし▲虎疫は約二週方減と見て大差なかるべし▲虎疫は新義州、義州地方共殆んど終熄せるも對岸の安東縣は未だ熄滅し居らざれば尙相當の注意を拂ひ居れり

●民長の市中巡視 仁川岩崎民長は就任後始めて去る廿八日市中を巡る隈なく巡視したるが大に將來に於ける施設經營方針に就て得る處ありたる由にて殊に萬石洞の埋立地が今や草茫々として空しく荒るゝに任せつゝあるを見て道路とし何等かの手段方法を講じて之れを利用する必要下の急務たるべきを思ひ近く仁川經濟研究會にも提議して共に研究する處あるべしと云ふ

●李首相邸宅購入 總理大臣李完用氏は目下老人亭前の首相官邸に住居し居れるが今回新に北署玉洞に巨費を投じて邸宅を購入し一兩日前移轉の筈なりしが新邸隣家に虎疫患者發生せし爲め延期したりと

●學校の授業開始 仁川民團立小學校分校及び同高等女學校は虎疫流行の爲め休校中の處三十日より授業を開始せり

●分隊長會議開會 憲兵分隊長會議は昨日最後の訓示あり正午閉會したりと

●夏目漱石氏來京 東京朝日新聞社の夏目漱石氏は滿洲方面より二十八日平壤へ着し一泊して近く入京すべしと云ふ

●巡査の採用試驗 今一日警察官練習所に於て邦人巡査採用試驗を擧行すべき由なるが志願者は約三百名の多數なりといふ

●仁川醫院長決定 仁川民團立病院副院長は豫て人選中なりしが目下京都大學病院に在勤の某醫學士近々赴任するとに決定す

●水雷艇隊の歸港 仁川近海警備中の水雷艇七十二號は一昨日午後四時仁川に歸港

公人私人

▲山內璞（審判裁判所判事）廿九日入京佐藤

▲米山喜源太（淸津稅關支署長）廿九日歸任

▲梶井泉（平壤鑛業所書記官）二十九日歸任

▲富家正義（度支部技師）廿九日退京開城へ

▲掛札泰藏（平壤農工銀行技師）同上馬山へ

近事片々

▲仲秋の名月生憎墨天にて賞するに由なし圖子芋栗も嘘天と蔽ふ村雲を嘲やしけり

▲人眠り森羅萬象寂として靜なる農夜中過に至て天晴れ圓なる月は彼方地を照せり

▲虎疫 流行日に殘るゝ者幾人此疫酸落る人界を見るに忍びざる爲に明月隱れしかなれ月樣蛍め隱す嗚呼月には村雲花には嵐人事意の如くならざる十に八九

▲昨者 官紀振肅と驗じ今者民間の風紀を叫ぶ須者御用紙の綱子聊か變手古是進化か退化か或者は統監府の干沙過ぎて御用紙振はずと云ふすまじき者は宮仕へか

▲或者 又御用紙には民間の風紀を論ずる資格ありやと是は野暮也言論は素より自由

▲進化 御用紙振はずと云ふすまじき者は宮仕へか

▲土地整理の進行難は報せらる併し今庭之を云ふは野暮始より此覺悟あるべき筈也

▲八年後の收入增徵を豫想して英大の費を投ずるは非也との議論出でたりとは不解

▲雞車 は最初より解り切たる話今頃になりて見合せる抔は常識にて判斷は出來る

▲曾禰 統監は醫師の勸告により面會を謝絕すとの京城電報電報紙國新聞に掲げられ居るに居る片々等未だ此事あるを聞かず然るに斯る電報の飛行あるは些て可怪也

▲此際 斯る電報は人をして速はしむ若し之を事實とすれば甚だ以て氣違はしき次第

▲滿洲 銀行設立は大に行悩み居るが如し後藤男及滿蒙側と大廳關係との意見合せず

▲理屈 は何れにもあるべけれども大隱輕營上是非共設置する要あらむ當局放棄なれ

▲飛行 器の試驗には臺灣討蕃に用いよとは善き思付韓國暴徒討伐に之を利用せよや

▲本年 內に試驗せらるべき我飛行器は首尾よく成功せしめたし是れ日本の大の誇也

▲駐米 大使の後任は愈々內田現駐墨大使と決定せりと云ふ是れ高平氏に優る也万々

▲露國 內閣更迭の說は或は事實とならむ

▲天狗 ストリピン首相の辭意は今や雖し難からむ猿上野動物園に來る其筆上品溫柔にして鼻形の奇なる東都珍物の呼物たらむ

東京城新聞 第二百廿六號 (三)
明治四十二年十月一日 日曜日 (月曜及祭日翌日休刊)

●虎疫流行と賣藥

▲石炭酸が一番賣れる
▲韓人向は清心保命丹

目下韓國各地に虎疫流行して釜山邪嚴を極め殊に京城市内の如き新患者續々發生して需分絶爆の見込なる有様なるが譬へ悩れた病は勿論者樣でも有爲の温泉でも寄らぬといふ定数はあるにしても怖るべき病魔には醫師と藥を頼ひの外はあるまい茲處醫師と相俟つて藥種商の大繁昌大萬歳の時なるが記者は昨日午前十一時頃南大門通り三丁目新井藥房に就て虎疫流行の折柄什麼藥が一番賣行が良いかと聞いたから一寸顧者藩賢に御紹介しよう同店主新井氏の談に依れば虎疫流行の爲め一番賣高のよいのは石炭酸にして最も多く賣れた日は一日約二千瓶もありますと昨日も宮内府に三百瓶納めました次がデシンフェキトール及グレシン位のもので兩者とも虎列拉、腦室扶斯等の傳染中最も頑強なる黴菌發生の抑止殺滅に偉大なる効力を有するから此外日韓人を通じて清涼剤たるゼムイ丹、清快丸等も相應に賣れますそれからも健胃固腸丸も流行病豫防剤としてなかなか成績が宜しくあります

韓人向として清心保命丹といふのが第一

であつて京城南大門内李庚鳳が製造して居ますが一ヶ年間の販賣高は五萬圓以上とは韓國藥製造家としてはなか〳〵儲もいのです古來韓國の名藥たる人參は平壌に製造本舗がありますが韓人は割合に服用しませぬ矢張清心保命丹の方を信用してゐます我邦では親の難病に瀕してゐるのに其娘が身を苦界に沈めてまでも高藥の人參を呑ませたと云ふ美譚は古き稗史小説などによく載つてゐるが韓國では日本人のそれぬ如く名藥として重く見てゐないらしい概して韓人は一週間服用すれば効果が顕はるとか乃至十日間服藥すれば怎なるとかいふ間接的の効果ある種類の藥は喜びませぬ唯だ一時的の目藥に於ける一點水とか仁丹などの服用して直ぐ効果の顕るゝのを信用して買ひます——歓迎します樣です尚頃日日本人にして藥用葡萄酒の御用を承はるとが多いですがこれは要するに一時的傾向のものだと思はれます現金京城市内に邦人賣藥商が三十餘軒もありますけれども未だ組合の組織はありませぬが何れ早晩具体的に組合規則なども出來るのであらうと考へます韓國も二三の都會だけで地方で

●囚はれ〜怪美人（一）

▲今はヨボ役人の喰物
▲元は東京柳橋の藝妓

先頃完旭町二丁目代書業金子某方の二階に記住居せし絶世の美人あり本名は魔女は預り通稱を照子（仮名）と云ひ、行き通ふ人の噂の種に上りしが如何なればこそ昨今は照子の柳腰花顔も秋の木の葉と共に褪せ果て〜指頭を飾るダイヤモンドもさては身の周りに至るまで取除けられて秋冷肌寒き今日此頃に洗晒しされて秋冷肌寒き今日此頃に洗晒し取除けられて秋冷肌寒き今日此頃に洗晒し取除けられて秋冷肌寒き今日此頃に洗晒し取除けられ

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし　中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし　氏名在社（四三五）

●雇入　烏類剝製に經驗ある者至急雇入れたし　氏名在社（四三八）

●雇入　小間物行商人用希望の人は左記の所に御來談あれ　麻町二丁目國分旅館

●募集　敏腕なる外交員至急雇入たし　京城旭町三　京城大澳門前　遠藤洋服店

●小僧入用　京城大澳門前

●尋ね人　植澤壯太郎君に至急面會致したし　米倉町紀の國屋　山崎生

●被雇たし　染織學校卒業商業に經驗あり商店を望む京城美洞三十統十一戸藤岡廣吉

●植字に被雇たし　社内　酒井

拔萃部

●電話至急買受たし　氏名在社（四四三）

若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來宅あれ　永樂座横　本田

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人越冬土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座横　本田

●電話讓渡したし　氏名在社（四四五）

廣告

各種洗濯石鹸　專門製造販賣　用途一陸軍、鐵道、船舶、織物、道、鑛山、水道湯屋散髪、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

東京火災海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立　資本金一千萬圓

京城代辨店　本町四山口吳服店　電話九番

事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

暖爐各種

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角一番戸　電四七一番　馬木勇吉

龍山山下町兵器廠官舎道入口　電三六四番　馬木支店

土耳古金口莨　直輸入大販賣

本社はトルコ最大莨製造會社にして其製品は原料精選其風味は良好無比なれば夙に世界各國に最多の輸出をなし好評を以て迎へられつゝあり卸小賣ご注文應仕候

京城本町四丁目角　デーエス、パチリス會社出張所

仁川港本町通　仁川代理店　顯原兄弟商會

入院隨意

諸般の設備を改善して一般診療に從事す

内科　小兒科　部長　安藤一郎

皮膚病　外科部長　醫學士　鶴田善重

花柳病　產科婦人科部長　醫學士　山添喜代藏

耳鼻咽喉科部長　石田誠

診療時間毎日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）

京城明治町一丁目　電話十二番　漢城病院

櫻組製靴と四ケ所商店

本邦製靴界ノ親玉トシテ好評嘖々タル櫻組製靴部ト特約ノ上尤モ嶄新ニシテ尤モ堅牢ナル品ヲ尤モ廉價ニ御取次可仕候間續々御用向被仰付度御申越次第何時ニテモ參上寸法頂戴可仕尚ホ定價表御入用ノ方ハ御申込次第送呈可仕候

京城本町二丁目（電話三一一）　四ケ所商店

東京松本樂器會社韓國代理店

歐米雜貨類　諸官衙御用達

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計　米國アンソニヤ時計

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

仁川本町三丁目

時計卸商　喜多金光堂本店

電話七五〇番

時計卸小賣　京城本町二丁目　喜多金光堂支店

電話千十五番

東京急足袋荷着

本店東京日より賣出し　京城大和町一丁目日の出橋際　電話二〇五番　藤井出張店

EDP埃及金口莨

○嗜莨家諸君○

ニコチンの中毒なく口中に芳香と快感を得んとする諸君は本品を用ひられよ

紳士紳商に向け進物を贈る諸君は優美にして廉價なる本品を用ひられよ

（百本入金七十五錢以上）

直輸入商　京城本町二丁目　日希商會　電話二百廿二番

やすくうります　洋服毛布　原雄吉　京城赤門横

荒物世帶道具一切　大坂　和傘岐阜提灯魚釣道具　製白絞油和洋蠟燭　卸小賣

荒物世帶道具　各國諸油米穀　銘酒澤龜サッポロ麥酒　並に買次業

京城本町六丁目　西崎嘉七本店

電話長二一〇電略（ニカ又はニ）　振替貯金口座東京（九四一七番）

薬學博士丹波敬三先生發明

クレシン

防臭　殺菌劑　消毒

クレシンニハ虎列刺菌、腸窒扶斯菌、實布的里菌等黴菌中最頑强ナル黴菌發生ノ抑止殺滅ニ偉大ノ効力ヲ有スル事現時發賣スル他ノ防腐消毒藥中比較スル可キモノナク而モ其價格ハ非常ニ低廉ナレバ惡疫流行ノ兆アル昨今公私衛生上殊ニ必要ノ良劑ナリ

販賣元　東京　合資會社　高田商會銀座販賣店

韓國特約店京城本町　山岸天佑堂藥房

藥店にて販賣り

（電話三百七十二番）

梅毒　ばらん病　リウマチス　新藥　毒滅

本郷森下博藥學士發明　各醫院實驗證明

特約販賣　自製　漬物味噌醬油製造元

大上商店

京城本町五丁目

和洋酒　精酢、穀物麵類銘茶、錦詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米穀、塩辛、日米食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

（電話二一五一番）

牛馬犬豚治療所（入院隨意）

京城明治町三丁目（電話四二七番）　小川家畜病院　獸醫　小川龜太郎

營業科目

活版、石版銅版各種印刷帳簿裝釘書籍製本及ビ印刷諸材料販賣

日韓印刷株式會社

遠ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番

出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

たやすくうります　綿わたワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

京城明治町一丁目四ッ角

卸問屋　唐川商店　電話二六一番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金參百萬圓　積立及繰越金九拾萬圓

京城南大門通　株式會社十八銀行　京城支店（電話四二〇）

韓國　釜山元山　仁川木浦　日本　大阪、熊本　佐世保、鹿原　五島、壹岐　長崎市幾町　本店　支店　出張所

其他日本、韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金　一口壹錢以上　一程にても御預り申す（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社　滊船仁川出帆廣告　貨物及船客取扱店　郡回漕店

仁川海岸通　電話三九番

釜山長崎門司神戸行　山東丸　月　日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行　高砂丸　十月十四日正午時出

●大連、大沽、牛莊行　山東丸　月　日午前四時出

●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　月　日正午時出

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行　宣神丸　十月六日午後出

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄注意迎船ニテ發ヲ可申候迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●運賃等　●乘船賃　●貨物運賃　●荷物運賃　●乘船賃　●貨物運賃　●荷物運賃　●乘船賃　●貨物運賃　●荷物運賃